

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月15日(18:00~19:00)

1、初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 大岡・脇・竹垣・石田・片岡・喜田・嵯峨山・藤丸・近藤文・近藤さ・高島・桂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計表		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネが新規利用者宅に事前訪問し情報収集しているため、混乱しないで受け入れができています。又、他事業所・医療よりの情報収集もおこなっている。職員は、事前のケース会議と記録作成等が早期にできているので、情報の共有がしやすい。当日休みの職員には、職員間での説明伝達で情報提供している。サービス開始時は様子を観ながら不安を取り除くように、ケアプランに添ってゆったりとした対応を心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間でケア内容や仕事に対する意識に差が出て、提供内容に若干のばらつきがある。記録内容の確認や口頭での伝達も同様で、全員の理解度が同じになるまでの時間がかかっている。利用者・家族に遠慮が有るので真意を掴むのが難しく、介護職員は家族と接し対話する時間が少ないため、要望等を直接聞くことができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・全職員が家族とコミュニケーションが取れるよう、家族が参加しやすい茶話会等を定期的で開催する。送迎担当でなくても、同行訪問し家族と直接話が出来るよう行事や送迎に工夫する。又、自分の思いを上手く伝えられない利用者には、声かけの機会を増やし職員側から思いを聞き取っていけるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月15日(18:00~19:00)

2、「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大岡・脇・竹垣・石田・片岡・喜田・嵯峨山・藤丸・近藤文・近藤さ・高島・桂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計表		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	9	1		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	9	1		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	1		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	9	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケース会議の実施、ケアプラン確認、アセスメント表の確認や変更をおこなったり、サービス評価内容を基に改善点を検討しケアを実施している。機能訓練やリクレーションで心身機能向上に努めている。課題や周知、提供内容等はサービス評価改善委員会で検討・評価・変更を行なっている。又、利用者の声に耳を傾け要望に対しての対応をおこなっている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知が進み本人の希望が明確に掴めず目標設定が難しい。その目標に対して本人が満足されているかの疑念もある。各人の目標をスタッフが完全に把握できておらず、要望に対応できていない点もある。多忙に事欠きスタッフ間での発言や伝達、振り返りが不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者一人一人にゆっくり時間をかけて深くかかわる。担当者は、利用者の目標を全職員が周知できるよう、ケース会議等の席上で伝達する。	